

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	九十九谷森林公園の景観整備とくりん草園及びアジサイ園復活事業
事業主体 (連絡先)	喬木村 下伊那郡喬木村6664
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,743,500 円 (うち支援金: 1,203,000 円)

事業内容

喬木村を代表する観光地であるくりん草園を中心に、令和2年7月の豪雨災害で被災した九十九谷森林公園内の復活事業を実施。

- ・くりん草植栽地に流入した土砂撤去及び水回し修繕
- ・くりん草植栽地への苗の定植等実施
- ・くりん草園周辺へのアジサイ苗木の定植実施



【くりん草植栽地土砂撤去後の様
【目標・ねらい】

事業効果

①当初計画より狭い範囲ではあるが、くりん草植栽地600平方メートル及び河川約50メートルに堆積した土砂の撤去ができた。

②県施工の治山事業により、車両の乗り入れが可能となり、くりん草園内遊歩道沿いに案内看板も設置し、徐々にではあるが特色ある観光地づくりを進めることができた。

③3月半ばまで車両の乗り入れができず、くりん草愛好会主催によるボランティア作業は1回実施にとどまったが、役場、JA、一般の参加により、くりん草園の整備が進んだ。また、アジサイの苗木植栽ボランティア作業は、前年度より大勢の参加により、くりん草園周辺の景観整備にも繋がった。

- ①九十九谷森林公園の環境保全及び
景観形成
- ②くりん草園の復活による、村の特色あ
観光地づくり

※自己評価【B】

【理由】
ボランティア作業は参加者が多く、計画していた作業が予定より早く終了できた。しかし、土砂撤去は計画していた場所の一部しか実施できなかった。

今後の取り組み

くりん草園内の整地は、ほぼ完了したため、次年度以降はくりん草園に沿った沢筋の復旧事業等、また、アジサイ園の本格的な復旧事業を進め、今後は複数年計画により九十九谷森林公園の景観整備に取り組んでいきたい。

新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、今後は地元中学生のボランティアクラブ等にも声をかけ、若い世代の作業参加にも繋げていきたい。